



発行所

山形新聞社

〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12

総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)

(c)山形新聞社2019

2019年
12月31日
〈火曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

ゴーン被告無断出国か



保釈され、東京拘置所を出るカルロス・ゴーン被告
＝4月25日、東京・小菅

【パリ、ロンドン共同】会社法違反罪などで起訴され保釈中の前日産自動車会長カルロス・ゴーン被告が日本を出国し、国籍があるレバノンの首都ベイルートに到着したと、複数の欧米メディアが30日報じた。被告は保釈の際の条件で海外への渡航を禁止されており、出国の詳しい経緯は不明としている。日本の法曹関係者は、被告が無断出国した可能性があるとしている。

海外渡航禁止、保釈中

「レバノンに到着」と声明

ゴーン被告は米国の代理人を通じて声明を発表し「私は今レバノンにいます」と明らかにした上で、日本の司法制度について「有罪が前提で、基本的人権が無視されている」と批判した。

報道によると、被告はトルコからプライベートルートに到着したとみられるという。フランス紙レゼコーなどはベイルート到着を30日としているが、29日だったとの報道もある。

フランス紙フィガロはゴーン被告の関係筋の話として、被告は日本の司法制度から逃れレバノン入りしたと報じた。米紙ウォールストリートジャーナルは「被告は自由の身になった。全ての人は真実を声高に語る機会を与えられるべきだ」とコメントした。

トリート・ジャーナルは、被告が日本を出国した理由に関し「公平な裁判を受けられないと考えている」としている。被告が近く記者会見するとの情報もある。

複数の法曹関係者は、海外への無断渡航を禁じたゴーン被告の保釈条件が変更されたとの情報はないと話した。

ベイルート在住のゴーン被告の友人であるジャーナリスト、リカルド・カラム氏はツイッターで「どのような手段であれ、ゴーン氏は新年を前に自由の身になった。全ての人は真実を声高に語る機会を与えられるべきだ」とコメントした。

購読・試読のお申し込みは

フリーダイヤル 0120-81-8040